

「元氣と笑顔を世界へ」

横浜市立石川小学校六年 今野 ひなた

私の夢は漢方薬の研究者になることだ。新しい漢方薬を作って、世界中に元気な人を増やし、社会に貢献したいと思っている。

私がこの夢を持つようになったきっかけは二つある。一つ目は、四年生の頃に参加したお仕事体験のイベントだ。その時は深く考えずに、「漢方薬研究者」を選んだのだが、白衣を着た研究員の方々に教わりながら漢方薬の成分を見る実験をしたことがとても楽しかった。遠心分離機や抽出した成分に紫外線をあてる機械など本格的な実験器具を使って、上手く実験結果が出たときは、すごく達成感があった。その時に、ガラスの瓶に入った木の皮や植物の根、種などを見せていただき、匂いもかいでみた。中にはいい匂いにも薬という匂いもあったけれど、調味料に使われそうな匂いや少し香ばしい匂いのももあり、身近にある木の皮や根

などが漢方薬になることが大変不思議で驚いたことが印象に残っているのだ。二つ目は、オーストラリア旅行でブルームウンテンに行ったときに、山が青く見えるのはユーカリの木の成分が集まって、かすみのようになるからだと言われたことだ。ユーカリのアロマオイルには咳を止めたり、虫よけの効果があったりする。それを知って改めて植物の持つパワーに、驚いたのである。

もし世界中にある植物を調べたら、体に良い成分がまだまだ発見できるのではないかと。そしてその成分を漢方薬にしたら、病気を防いだり、今より健康な人を増やせるのではないだろうか。だから、どうしたら夢に近づけるのか、自分なりに調べてみた。まずは、大学で薬学を学ぶことが必要だ。それ以前にまずは、大学に入学しなくてははいけない。それらに

かかる様々な費用がかかるうえ、植物についての知識を蓄えるため、英語やスペイン語などの語学も学びたい。その検定料、留学費も必要かもしれない。このように、とにかくたくさんのお金がかかることが分かった。

次に、大学卒業後、漢方薬を作る会社に入社して、新しい漢方薬を作る研究を進めたいと思っている。子供やお年寄りの方が飲みやすいように、味をつけたり量を少なくしたりする工夫もしたい。私の作った漢方薬で元気になる人が増えたら、こんなに嬉しいことはない。今回、夢を実現するために必要なお金があることを初めて考えることができた。色々調べたり考えたりするうちに、少しだけ夢に近づけた気がして、ライフプランを立てる意義を学べた。そして何より、これから先、私が目標に向かって勉強する時の大切さを、身をもって経験できた。だからここで学んだことを生かして、これからは進路に迷ったり不安になったときには自分で調べ、計画を立てて、夢に向かって、努力を続けていきたい。

今野 ひなた のライフプラン
将来なにになりたいか? 漢方薬の研究者
その理由: 世界中に元気な人を増やし、社会に貢献したいから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2019年	12歳(小6)	勉強をがんばる	塾代、本代
2020年	13歳(中1)	中学校入学 英語をがんばる	授業料、入学金
2021年	14歳(中2)	部活 体力づくり	本代
2022年	15歳(中3)		
2023年	16歳(高1)	留学をして語学を学ぶ	留学費
2024年	17歳(高2)	アマテラスの検定を受ける	検定料
2025年	18歳(高3)	大学に向けた受験勉強	塾代
2026年	19歳(大1)	大学入学(薬学部)	入学金
2027年	20歳(大2)	単位をできるだけ取得する	
2028年	21歳(大3)	アルバイトをしてから世界中を旅行	旅費
2029年	22歳(大4)	卒業研究として、旅で学んだことを発表する	
2030年	23歳(M1)	大学卒業 大学院に進む	入学金
2031年	24歳(M2)	研究のために留学する 就活	留学費、スーツ代
2032年	25歳	製薬会社に入社	本代
2033年	26歳	以下の研究をする	
2034年	27歳	漢方開発プロジェクトチームリーダーになる	
2035年	28歳	新薬を開発して世の中に普及	

世界中の植物を探す

生活費